

令和4年度 【技術・家庭科 技術分野】 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・実習教室の環境整備を行い、生徒が主体的に工具や機器を選択・活用し作業することができた。また、作業進度の差異については、ICTでの資料提示や協同作業で学び合うことで多少解消された。
- ・内容ごとの作業・評価プリントをICTでのデータ配信をすることにより、生徒一人ひとりが自分の作業状況や評価を正確に把握し、作業計画の効率化や修正を図ることができた。
- ・ICT機器やデジタル教科書を積極的に活用し、学びをより深めることができた。

(2) 課題

- ・「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業を実践するとともに、思考力・判断力・表現力等がより向上する題材や内容の工夫を図る。
- ・ICT機器やタブレット端末を効果的に活用し、より主体的に学習に取り組める授業改善を図る。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
安全に作業するために工具の使い方や作業手順についての知識の習得を目指す。 ICT機器を効果的に活用し、安全に作業できる技能の習得を目指す。	ICT機器を効果的に活用し、技術の見方・考え方を身近な生活にいかし、よりよい生活しようとする思考力・判断力を育成する。また、自分の考えを表現できる力を育成する。	ICT機器を効果的に活用し、身近な生活の中の技術に関心を持ち、自らの生活を振り返る。 粘り強く、自らの学習を調整しようとする態度を育成する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
様々な技術的事象についての知識を習得し、理解した内容を作業に活かすことができるようにする。 ICT機器を効果的に活用し、安全にかつ効率よく作業できる技能の習得を目指す。	ICT機器を効果的に活用し、技術の見方・考え方を身近な社会にいかし、よりよい社会を築こうとする思考力・判断力を育成する。また、自分の考えを表現できる力を育成する。	ICT機器を効果的に活用し、身近な社会の中の技術に関心を持ち、社会の抱える問題を振り返る。 粘り強く、自らの学習を調整できる態度を育成する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自主的に安全かつ効率よく作業することができるように習得した知識を活用することができる。 ICT機器を効果的に活用し、安全にかつ効率よく作業できる技能の習得を目指す。	ICT機器を効果的に活用し、技術の見方・考え方をグローバルな社会にいかし、持続可能な社会を築こうとする思考力・判断力を育成する。また、自分の考えを表現できる力を育成する。	ICT機器を効果的に活用し、グローバルな社会の中の技術に関心を持ち、国際社会の抱える問題を振り返る。 粘り強く、自らの学習を調整できる態度を育成する。

